

平成28年9月4日  
今週のベストショット



奈多グラウンド 三苦フレンズ 対 ソルトベイズスターズ戦  
二戦連続の初打席HRを放つ三苦フレンズ生野拓磨選手。

写真：三友クラブ 大坪和則

**青松園B 総合力の差でウインズ今季6勝目！**

ブルーマーリンズ（4勝4敗1分） 1 0 0 0 1 0 2 林●ー横山（健）

新町ウインズ （6勝3敗） 0 2 0 5 0 X 7 藤田○ー今林

**3BH**：今林、泉（晴）（新町ウ） **2BH**：岩田（新町ウ）

一回表、ブルーマーリンズは1番井上（広）選手がライト前ヒット。三番糸井選手の死球で一二塁のチャンス！四番桑野選手のレフト前ヒットで1点を先制。勢いそのままに1点でも多く入れておきたいところだが、ウインズの藤田投手も大きくは崩れることなくこの回は1点止まり。ウインズは一回裏岩田選手の内安打で出塁するが、後続が打ち取られ無得点。今季4勝を挙げているブルーマーリンズの林投手は上々の立ち上がり！ブルーマーリンズは二回も先頭打者の友重選手のセンター前ヒットで出塁するも後続が打ち取られ0点。ウインズは二回、四番藤田選手がエラーで出塁。次の桐島選手のレフト前ヒット！レフトのエラーもあり藤田選手がホームかえって同点。七番松岡選手のライト前ヒットで2対1と逆転！ブルーマーリンズは二回から四回まで無得点。ウインズは四回、泉（晴）選手、今林選手の三塁打と岩田選手の二塁打等で一挙に5点を追加する。ウインズ藤田投手は本調子ではないように感じたが、バックの守備の助けもあり、7安打を打たれるが2点に抑え、総合力の差でウインズが勝利した。ブルーマーリンズは振るわないシーズンが続いてきたが、今季は現時点で五分五分の成績。ベンチを観察して感じたことは、小柳監督だけではなく、ベテラン、若手選手とも一挙手一投足に声を掛け合い全員で勝利をつかむという姿勢で一戦々に臨んでいると感じた。今季をきっかけにいずれは優勝を争うチームになって欲しい。（記事・写真：奈多クラブ 木伏陽一郎）



この試合2安打のブルーマーリンズ井上（広）選手。



バントで相手を揺さぶるウインズ安藤（一）選手。



鋭いスイングをみせるウインズ系井選手。



上手くゴロをさばくウインズ渡辺三塁手。



安定感のある守備、ブルーマーリンズ末松三塁手。



二回裏、レフト前ヒットを放つウインズ桐島選手。



代打でヒットを狙うブルーマーリンズ谷山選手。



今日2安打！ ウインズ今林孝智選手。



センターライナーを見事にキャッチ！糸井選手。



きわどい判定はボール！

### 奈多グラウンド 山口-生野の投手リレーと打線がかみ合い、三苦フレンズが勝利！

三苦フレンズ (2勝7敗) 2 1 2 1 1 2 0 9 山口○、生野ー佐藤

ソルトベスターズ (9敗) 0 0 0 2 0 0 0 2 中村(耕) ●ー酒井

HR: 生野(三苦フ) 3BH: 眞弓(ソルト) 盗塁: 吉村(雄)(三苦フ)

勝星を増やしたい三苦フレンズとソルトベスターズの試合は、先発はソルトベスターズ中村(耕)投手、フレンズ山口投手で始まった。初回、フレンズは中村(耕)投手を攻め、二番御手洗選手がレフト前ヒットで出塁すると三番生野選手が左中間へのHRを放ち2点を先制する。その裏、ソルトベスターズは山口投手の速球に手が出ず三者凡退。山口投手は順調な立ち上がりを見せた。二回表フレンズは九番田中選手がバントヒットで出塁すると相手守備の悪送球で1点を追加。三回表もフレンズは三番生野選手、四番山口選手、五番佐藤選手、六番篠原選手の連続ヒットにエラーも絡み1点を追加。四回表は一番吉村(雄)選手の隙をついたホームスチールで更に1点を追加。ソルトベスターズは三回まで山口投手の前に二塁を踏ませてもらえなかったが、四回裏、反撃を見せる。二番石井選手が四球で出塁すると続く眞弓選手は山口投手から前進守備していた左中間を綺麗に破る三塁打を放ち、待望の1点を入れる。続く中村(耕)選手の内野ゴロの間にランナーが返りもう1点を追加。五番田中選手も綺麗にレフト前ヒットを放ち、更に攻撃が続くかと思われたがあとが続かなかった。ただ、山口投手の速球を綺麗に弾き返したのは素晴らしかった。五回表、フレンズは先頭打者佐藤選手が外野エラーで出塁し、代わった六番太田選手の内野安打の間に1点を追加する。続く七番肥喜里選手もバントヒットで出塁したがあとが続かず1点止まりだった。六回裏からフレンズは山口投手から生野投手にバトンを渡す。生野投手は四死球を出したものの要所を締め、七回もソルトベスターズ打線を封じ、ゲームセットとなった。山口投手と生野投手の好投リレーもあったが、相手の失策も含めチャンスに確実に得点をしたフレンズの打線も素晴らしかった。また、六回に見せた山口投手の速球を見事に弾き返し、得点したソルトベスターズ打線も素晴らしかった。

(記事: 三友クラブ 駄原孝一郎、写真: 大坪和則、八尋豊)



ソルトベスターズ先発中村(耕)投手。



連勝なるか？フレンズ先発の山口投手。



一回表、レフト前ヒットを放つフレンズ御手洗選手。



一回表、左中間へのHRを放つフレンズ生野選手。



三回裏、ライトフライを捕球するフレンズ寺山選手。



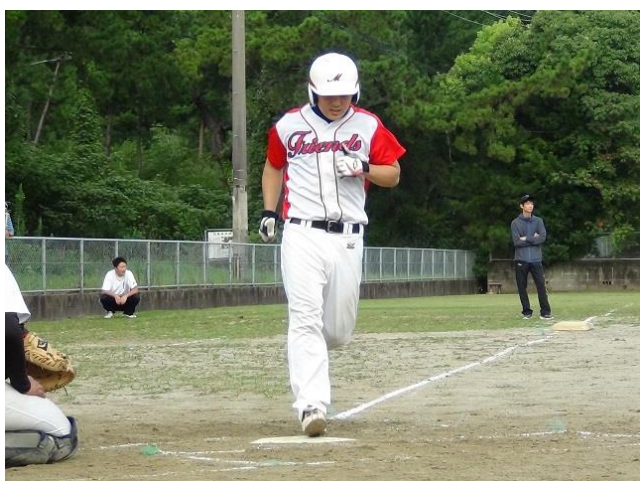
四回裏、タイムリーヒットでホームに戻るソルト石井選手。



四回裏、よくぞ打った三塁打！ソルト眞弓選手。



五回表、もう少しで捕れそうだった。天を仰ぐソルト矢野選手。



内野安打の間にホームインするフレンズ佐藤選手。



五回裏、浅いライトフライを好捕するフレンズ日喜里選手。



六回表、ファーストフライを捕球するソルト森選手。



六回裏、リリーフに上がるフレンズ生野投手。



七回表、ライトライナーを捕球し笑顔のソルト矢野選手。



七回裏、なんとかして塁に出たいソルト中村(健)選手。

## 青松園A 集中打で三球界に軍配！

新町パイレーツ（2勝7敗）0 1 1 0 0 1 3 弥栄●一大濱

三苦三球会 （3勝6敗）3 0 0 4 0 × 7 吉留○一藤澤、山崎

HR：桐島（新町パ） 大津（三球会） 3 BH：桐島（新町パ） 2 BH：原口（三球会）

盗塁：弥栄2、足立2（新町パ） 原口、塚（太）、浜口2（三球会）

一回裏三球会の攻撃、死球で出塁した原口・藤澤選手を二三塁に置き、四番右山選手のレフト前安打で原口選手が生還で1点先制、続く五番塚（太）選手の一塁ゴロの間に藤澤選手生還で2点目 さらに六番濱口選手安打で出塁し盗塁、捕手の悪送球の間に3点目を奪いこの回終了。二回表パイレーツの攻撃四番足立選手が四球を選びすかさず盗塁、五番・六番打者連続三振に 封じ込まれるも、七番本堂選手のレフト前安打で二塁ランナー足立選手が俊足を生かして一気に生還、1点を返すが後続が打ち取られこの回終了。続く三回表も一番桐島選手のセンターを越える本塁打でさらに1点を返し追い上げムードが高まる。四回裏三球会の攻撃、八番船橋選手が一塁安打で出塁、九番打者倒れ一番原口選手が右中間へ二塁打、二番藤澤選手は死球を受けて山崎選手と交代、一死満塁とする。ここで踏ん張りたいパイレーツ弥栄投手だが、三番大津選手に対し暴投で1点献上、気落ちした所をレフトに3点本塁打を打たれ突き放される。最終回パイレーツも二死から一番桐島選手の三塁打で1点を返すが続く打者が三振に抑えられて試合終了。パイレーツ弥栄投手の粗削りながら、たまに見せる鋭いストレートに、どうしたらこんな音が出るのか不思議なチェンジアップが目を見張った。一方3点を取られたが要所々を抑えた三球会吉富投手の好投が印象的だった。（記事・写真：奈多サンデーズ 田中俊弘）



試合前の挨拶。



パイレーツ先発の弥栄投手。



なんでも一生懸命！パイレーツ弥栄選手の激走。



華麗に捌くパイレーツ牟田選手。



ポテポテの球を追いかける三球会堺（達）選手。



フライを裁く三球会達也選手。



本塁打でヘッドスライディング！パイレーツ桐島選手。



四回裏、本塁打で生還三球会大津選手。



本塁打を放った三球会大津選手。



戦況を見守るパイレーツベンチ。

#### 雁レク4 投手戦の行方は…

レッドサンデーズ（1勝6敗2分）000002 2 塚本△ー荒口

塩浜ジャガーズ（5勝3敗1分）002000 2 内田△ー橋村

**2BH**：神田（レッド） **盗塁**：川原（正）、壱岐、八島（レッド）、橋村（塩浜）

塩浜ジャガーズ内田投手、レッドサンデーズ塚本投手の好投手同士の両先発で試合は始まる。レッドサンデーズは一回表、先頭の一歩川原（陸）選手が左前安打を放ち出塁すると三番神田選手の右翼への二塁打で一死二三塁と好機を演出。ここで四番八島選手が打席に立ち、レッドサンデーズ先制かと思いきや四番八島選手は遊飛、続く五番塚本選手は中飛に倒れ先取点は奪えず。一方、ジャガーズは三回裏無死三塁から三番内田選手の右犠飛で1点を挙げジャガーズがこの回2点を先制する。ジャガーズ先発の内田投手は五回まで4安打無失点の好投。このままジャガーズが逃げ切るかと思われたが、六回表レッドサンデーズは無死二三塁の好機で四番八島選手。意地の内野安打で今度は好機を得点につなげた。続く五番塚本選手も中犠飛を放ち同点とする。しかし逆転するには至らず。ジャガーズも六回裏の攻撃はレッドサンデーズ先発、こちらも好投の塚本投手の前に三人で締められゲームセット。両チーム共勝利に手が届きそうで届かないという試合であった。

（記事・写真：雁ノ巣ライナーズ 明瀬 旭）



レッドサンデーズ先発の塚本投手。



塩浜ジャガーズ先発の内田投手。



一回表、左前安打を放つレッド一番川原（陸）選手。



二回裏、遊撃への内野安打を放つジャガーズ五番石内選手。



三回裏、先制となる右前安打を放つジャガーズ九番藤川選手。



六回表、同点のホームを踏み、迎えられるレッド神田選手。

## 第16週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第16週、9月4日は4試合が行われました。

青松園Bのブルーマーリンズ対新町ウインズ戦は、好調ブルーマーリンズが先制するも二回に逆転したウインズは、四回裏に一死から泉、岩田、安藤（一）、今林、藤田選手の長短打を織り交ぜた5連打で試合を決めた。ウインズ藤田投手は毎回ランナーを背負いながらも2失点。2-7でウインズの勝利。

奈多グラウンドの三苦フレンズ対ソルトベイスターズ戦は、初回から2試合連発のフレンズ生野拓磨選手のHRなどで先制したフレンズが計10安打でソルトを圧倒し、9-2で勝利。投げてはフレンズ山口投手が2安打に抑える好投。ブルーマーリンズが好調なだけにソルトベイスターズが新たな指定席に着きつつある。このままでいいのか！？ソルトベイスターズ！！

青松園Aの和白新町パイレーツ対三苦三球会戦は、一回裏に連続四球から3点を先制した三球会は、1点差に迫られた四回裏には四番大津選手の値千金の3ランなどで4点を挙げ一気にパイレーツを突き離し、3-7で勝利。両チーム合計8盗塁と珍しく走力の試合展開だった。

レッドサンデー対塩浜ジャガーズ戦は、初回の絶好のチャンスを逃したレッドを尻目にジャガーズは三回に



ヒットとエラーで2得点。しかし続く四回裏の一死満塁ではレッド塚本投手が踏ん張る。追いつきたいレッドは六回表に無死一二塁で初回のチャンスを活かせなかった八島選手がタイムリー。続く塚本選手の犠飛で追いつくもジャガーズ内田投手が踏ん張り2-2の引き分け。両チーム1点勝ち越しの場面でひと工夫あれば勝利できたのにもったいない試合だった。

オリンピックが閉幕したのも束の間、リオ・パラリンピックが開幕しました。

身体に障害を持ってる方々がスポーツを通して競い合う姿は、人間の可能性、不屈の精神の素晴らしさを感じます。

ちなみに、障害者スポーツの競技大会は、聴覚障害者のためのデフリンピックや、知的障害者のためのスペシャルオリンピックスなど各障害ごとに別々の理念と大会と歴史が存在しています。

パラリンピックの象徴であるマーク（パラリンピックシンボル）は、人間の最も大切な3つの構成要素「心（スピリット）・肉体（ボディ）・魂（マインド）」を赤・青・緑の三色で表しているそうです。

たとえば、ある身体的部分に障害を持ったとしても、それを補う心と魂、そして鍛え上げられた肉体を表すパラリンピックアスリートやそれを目指すすべての人々への象徴であるように感じます。

オリンピックマーク、いわゆる五輪マークは、単色または五色（左から青・黄・黒・緑・赤）の輪を重ねて連結した形で、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジア、オセアニアの五大陸と、その相互の結合、連帯を意味しているが、どの色も特定の大陸を意味したものではないそうです。

WSLには特定のシンボルマークは存在しませんが、パラリンピック、オリンピックの精神をここで改めて知ることにより、より健全で、より健康で、より連帯感を持ったリーグになって欲しいと思います。

その起爆剤としても本日運営会議後に開催される「Go! Do! 飲み会」が盛り上がることを祈ります。

参加される各チームの方は、ただ飲むだけではなく、他チームの方との交流でより友好の輪を広げ、後半戦の糧としてチームに持ち帰って欲しいです。